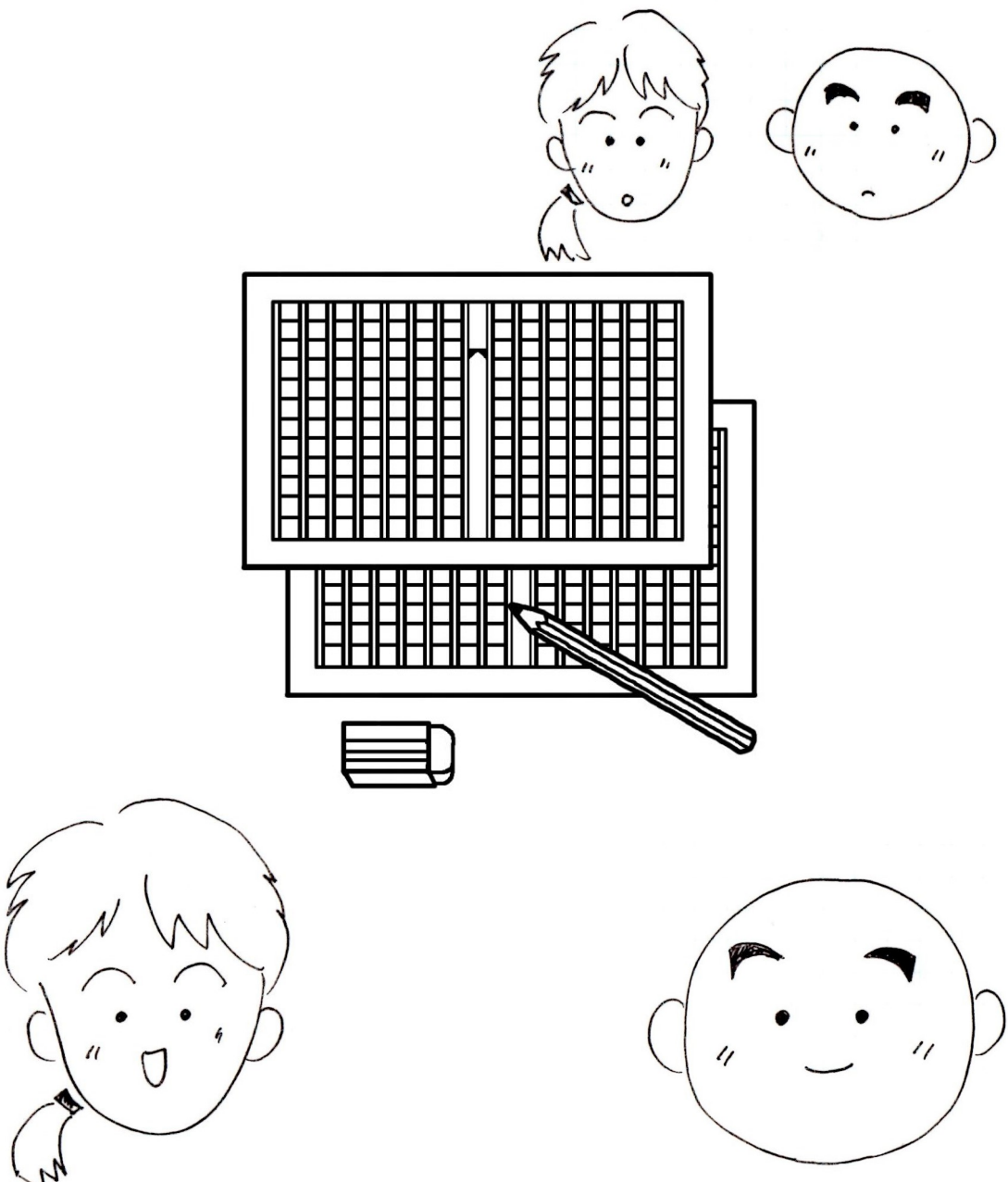


〔別添資料〕

（改訂版）

十一人の主張

—社会に目を向けて、
自分が考えたことを意見文で主張しよう—



十一人の主張

― 社会に目を向けて、自分が考えたことを意見文で主張しよう ―

【はじめに】

「 番 氏 名

」

学校や日々の生活の中で、自分の考えや思いを文章で表現する機会はとても多いものです。例えば、SHRでのスピーチや各教科での調べ学習や課題発見・解決学習の内容について発表するときに、発表用の原稿を書くことがあります。運動会や文化フェスティバルなどの行事の後に、作文を書くことがあります。また、各学期の最初の学活で、一年間、または、学期ごとの決意を書くこともあるし、学期ごとの振り返りを書く時もあります。

このように、国語の授業以外でも、文章を書く機会が多いのです。

ところで、みなさんは、文章を書く時に、どのような過程で書いているのかを意識したことはありませんか？ みなさんは文章を書く時、「書き手」になります。文章を書けば読む人、つまり、「読み手」が存在します。文章を書く時、みなさんは「書き手」として、「読み手」に、自分の考えや思いを理解してもらえらうように、文章で「伝える」ことが必要になります。

さて教室のあちらこちらで、原稿用紙を目の前にして、こんなとまどい声が聞こえてきます。

「どんな資料を使って書けばいいのか分からない。」

「どういう構成で書けばいいのかな。」

「書きたいことはあるけれど、どう表現すればいいのだろう。」

「途中から何を書いているのか分からなくなってしまう。どこをどう直せばいいのだろう。」

文章を書く時には、まず、読み手と目的を知ることが大切です。読み手と目的を知ることによって、どのような文章を書けば良いのかを考えることができま

す。そして、自分の考えや思いを明確にし、その根拠になる具体例を示します。読み手に自分の意見を伝えるのに、どのような構成にすれば良いのか、具体例をどのように引用すれば良いのかを考え、文章を書き、読み直して清書をします。

この時、私たちは「論理」を使います。「論理」は、文章を書く時だけでなく、発表する時も読む時にも使います。

では、「論理」とは一体何でしょうか。

(文章を書く時の過程)

◎読み手と目的を知る。

1 題材の設定・情報の収集・内容の検討

2 構成の検討

3 考えの形成・記述

4 推敲

【論理とは何か】

さて、「論理」とは何でしょうか。「論理」とは、「内容と内容との間に見られるつながり」です。そして、「意見と理由・事実」「原因と結果」「順序」「一般と具体」「全体と部分」の種類があります。

ここで、論理について例文をもとに説明します。

<p>① 私は夏が好きだ。なぜなら、海やプールで泳ぐことができるからだ。</p>	<p>上の文章は、「私は夏が好き（意見）」「海やプールで泳ぐことができる（理由）」というつながりをもっています。このように、意見と理由のつながりをもっているものを「意見と理由・事実」の論理と言います。</p>
<p>② 今日は青空が広がり、太陽が出ています。この状況から、天気が良いと言えます。</p>	<p>上の文章は、最初の一文で天気の状態を述べ、そこから「天気が良い」という結果を導いています。つまり、最初の一文は、「天気が良い」という結果を導く（原因）であると言うことができます。この場合、この二つの文は、原因と結果のつながりをもっており、このようなつながりを「原因と結果」の論理と言います。</p> <p>なお、①の「意見と理由・事実」と②の「原因と結果」の論理は、文章の種類や内容によってどちらか一方になることがあります。</p>
<p>③ 私が夏を好きな理由は二つある。一つ目は、海やプールで泳げるからだ。二つ目は、青空が広がり、太陽が出ているからだ。</p>	<p>上の文章は、「夏が好き（意見）」と述べて、その次に理由を二つ挙げるといふ構成になっています。</p> <p>このように、意見と理由の二つの事柄をどのような順番で述べるかという「事柄の並べ方」によるつながりを「順序」の論理と言います。</p>
<p>④ a トマト、きゅうり、スイカ、ゴーヤ。これらは夏の野菜だ。 b 夏の野菜と言え、トマト、きゅうり、スイカ、ゴーヤなどがある。</p>	<p>上の文章は、まず、aの文は、野菜の具体的な名前を挙げて、「夏の野菜」とまとめています。次に、bは「夏の野菜」とまとめてから、野菜の具体的な名前を挙げています。</p> <p>aのような「まとめと具体例」のつながり、bのような「具体例とまとめ」のつながりを、「一般と具体」の論理と言います。</p>
<p>⑤ 夏と言えば花火だ。花火には、打ち上げ花火、手持ち花火、パラシュート、線香花火など様々な種類がある。中でも、線香花火は、江戸時代から作られている日本の伝統的な花火だ。</p>	<p>上の文章は、「花火」という大まかな話題（内容）を取り上げ、そこから「線香花火」に注目しています。「花火」という大まかな内容と「線香花火」という細かい・詳しい内容つながりを「全体と部分」の論理と言います。</p>

このように、私たちは普段から「論理」を使っているのです。

ではここで、論理の種類と意味・具体例を表でまとめたので、見てみましょう。

論理の種類	論理の意味・具体例（△△∥意見・結果　○□◇∥具体例）
意見と理由・事実	意見とその意見を裏付ける理由や事実（具体例）とのつながり ○○だから△△になる。 ○○という事実があるから△△だ。
原因と結果	原因と結果によるつながり ○○から△△になる。 △△は、○○による。
順序	事柄の並べ方によるつながり ・意見や結果をどこで述べるかを表す △△↓○○／○○↓△△／△△↓○○↓△△ ・理由や事実（具体例）をどの順序で述べるかを示す □□↓○○／○○↓□□
一般と具体	まとめと具体例とのつながり ◇は△△である。例えば、○○や□□がある。 ○○という例がある。ここから、◇は△△といえる。 ○○であり、□□である。つまり、◇は△△だ。
全体と部分	大まかな点と詳しい点・細かい点とのつながり ○○という点から△△であるといえる。 特に○○に注目すると、△△であることがわかる。

それでは、私たちは、どのようなことを考えながら文章を書いているのでしょうか。ここでは、意見文を例にして、「書くこと」の学習過程に沿って見ていきましょう。

図1『論理と考える視点』

◎読み手と目的を知る。

▽どのような人が読むのか。
（相手意識）
▽書く目的は何か。
（目的意識）

1 題材の設定・情報の収集・内容の検討

学習の内容

読み手に自分の意見を伝えるために

☆ある事柄について自分の意見を明確にする。
○意見の根拠としてどのような資料を集めたら良いか。
○どのような具体例があれば、意見が明確になるか。
○どの部分に注目すれば、意見が明確になるか。

（意見と理由・事実）
（意見と理由・事実）
（一般と具体）
（全体と部分）

▽考えよう（1）
意見の根拠となる資料の収集・選択・検討をどのようにすれば良いかを考える。

2 構成の検討

読み手に自分の意見を伝えるために

○自分の意見をどの型（頭括型・尾括型・双括型）で述べれば効果的か。
○具体例をどのように順序立てれば（並べれば）効果的か。

（順序）
（順序）

▽考えよう（2）
意見を効果的に伝えるために、どのような構成にすれば良いかを考える。

3 考えの形成・記述

読み手に自分の意見を伝えるために

○具体例をどのように記述すれば意見を明確に伝えることができるか。
○具体例をどのように関連付けたりまとめたりして引用すれば効果的か。
○注目した部分をどのように引用すれば効果的か。

（意見と理由・事実）
（一般と具体）
（全体と部分）

▽考えよう（3）
意見を明確に伝えるためにどのように資料を引用すれば良いかにについて考える。
▽意見文を書いてみよう
これまで学習した内容をもとに構成表を作成し、意見文を書く。

4 推敲

☆文章を書いたら（読み手の視点に立ってみよう）
読み手に自分の意見を伝えるために
☆意見は明確か。
○意見と具体例とのつながりは適切か。（ズレはないか。）
○意見を伝えるのに適切な構成になっているかどうか。
○具体例の順序立ては適切か。
○引用した具体例は意見に対して効果的か。
○注目した部分は意見に対して効果的か。

（意見と理由・事実）
（意見と理由・事実）
（順序）
（順序）
（一般と具体）
（全体と部分）

▽意見文を読み直そう
下書きした意見文をもとに、どのように推敲すれば良いかにについて考え、清書する。

清書

『十一人の主張―社会に目を向けて、自分が考えたことを意見文で主張しよう―』

考えよう（1）題材の設定・情報の収集・情報の検討

（学習のめあて）意見の根拠になる資料をどのように収集・選択すれば良いかを考える。

◇（論理）と「考える視点」

「考える視点」

◎読み手に自分の意見を伝えるために

- ☆ある事柄について自分の意見を明確にする。
 - 意見の根拠としてどのような資料を集めたら良いか。
 - どのような具体例があれば、意見が明確になるか。
 - どの部分に注目すれば、意見が明確になるか。
- （意見と理由・事実）
（意見と理由・事実）
（一般と具体）
（全体と部分）

☆ミワコさんとミワオくんは、三和川中学校の三年生です。二人は、三年生全員による校内意見発表大会に向け、「今の社会に思うこと」について、四百字程度の意見文を書きます。二人は、高齢者に関わることをテーマにして意見文を書くことにしました。

ミワコさん

高齢者に関わるテーマ

- ・ 高齢化社会
- ・ 孤立
- ・ 労働
- ・ 年金
- ・ 福祉・医療
- ・ 健康寿命
- ・ 自動車運転

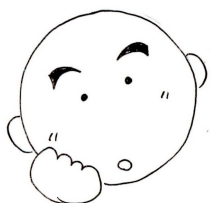
最近の新聞で、世帯数の将来推計に関する記事が出ていたわ。これからは、高齢者の一人暮らしが増えて、社会的な孤立が問題になるかもしれない。だから、高齢者の孤立問題について意見文を書こうと思う。

曾祖母が、よくサロンでの出来事を話してくれるから、それを取り上げて書こうかな。でも、それだけじゃ足りないから、サロンに関する記事を探してみよう。



おじいちゃんといつも話していることを書こうかな。
…たとえば…そうだなあ。おじいちゃんの運転かなあ。おじいちゃんの運転が危ないときがあるんだよね。
だけど、労働問題や福祉についても気になるな…。

ミワオくん



☆高齢者に関わるテーマで意見文を書くので、ミワコさんは曾祖母に、ミワオくんは祖父に話を聞き、それを具体例に入れることにしました。

(ミワコさんのメモ)

☆曾祖母の話

ア サロンが楽しい
イ 友達ができた
ウ もっといろいろな活動がしたい
エ サロンでの活動で、絵手紙や俳句に興味をもった
オ 体を動かす活動もしたい
カ サロンに来なくても来られない人もいる

(ミワオくんのメモ)

☆祖父の話

a おじいちゃんの友達が免許を返した
b チャレンジデーではグラウンドゴルフをし、優勝した
c おじいちゃんの運転が心配
d 運転ができなくなったら外出が心配
e 畑のそばにプラスチックごみが捨てられているので困る

☆メモだけでは不十分なので、二人は、高齢者に関連する新聞記事を持ち寄りました。

資料Ⅰ

統計局ホームページ

(平成三十一年四月十二日公表 図3)

☆ 一九五〇～二〇一八年(十月一日現在)の年齢区分別人口の割合の推移のグラフ

資料Ⅳ

中国新聞 (令和元年五月十四日付)

☆ 国土交通省・経済産業省による公道での自動運転実証実験の記事
※二〇二〇年度に予定されている中型バスの自動運転実験を説明

資料Ⅱ

中国新聞 (平成三十一年四月二十日付)

☆ 国立社会保障・人口問題研究所が公表した都道府県別「日本の世帯数の将来推計」に関連した記事
※A市のコミュニティカフェの取組を紹介

資料Ⅴ

中国新聞 (令和元年五月十六日付)

☆ 政府が七十歳まで働く機会の確保を企業の努力義務とする方針を固めたことについて説明

資料Ⅲ

中国新聞 (令和元年五月三日付)

☆ 平成三十一年四月二十九日の全国イベント「チャレンジデー」における三次市の参加率についての記事
※B市での取組を紹介

資料Ⅵ

中国新聞 (令和元年六月十一日付)

☆ 政府が検討している高齢者免許制度の創設について説明

〈ミワコさんの場合〉

私は、高齢者が孤立しないように、サロンの充実と移動手段の確保が必要だと思います。
曾祖母が、サロンに行くと、友達が増えたい、趣味もできたから楽しいと言っています。
でも、サロンに行きたくても行くことができない人もいらっしゃるから、それについても書きたい。ということで、資料は、「曾祖母の話」「資料Ⅱ」「資料Ⅳ」にします。



〈ミワオくんの場合〉

僕は、おじいちゃんと一番話題になった「高齢者の運転に関する問題」について書くことにしました。
おじいちゃんの運転も危ないと感じるときもあるし。
最近、高齢者の運転による事故も多いし。
ただ、まだ意見がはっきりしないので、まずは資料を集めてみようと思います。



【考えてみよう1】

- ① ミワコさんは、何の論理を使って意見の根拠になる資料を選択しているでしょうか。ミワコさんの意見や会話をもとに考えましょう。
- ② なぜ、ミワコさんは、資料Ⅱ・Ⅳを使うことにしたのでしょうか。理由を書きましょう。
- ③ ミワオくんはどの資料を選択すれば良いでしょうか。資料Ⅰ～Ⅵから選択しましょう。
- ④ なぜ、③の資料を選択するのが良いと思ったのですか。理由を書きましょう。

①	
②	
③	
④	

『十一人の主張―社会に目を向けて、自分が考えたことを意見文で主張しよう―』

考えよう (2) 構成の検討

(学習のめあて)

それぞれの構成の特長を知り、自分の意見を述べるのに効果的な構成について考える。

◇ (論理) と「考える視点」

「考える視点」

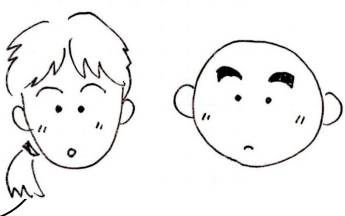
◎読み手に自分の意見を伝えるために

○自分の意見をどの型(頭括型・尾括型・双括型)で述べれば効果的か。

○具体例をどのように順序立てれば(並べれば)効果的か。

(順序)
(順序)

☆ミワコさんとミワオくんは、文章例をもとに三つの型の良さについてまとめることにしました。



【考えてみよう2】

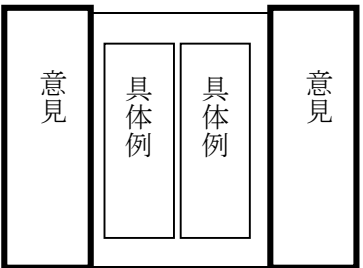
① 文章例ABCの書き手の意見にあたる段落を□で囲みましょう。

② 三つの型を次の視点で比較しましょう。

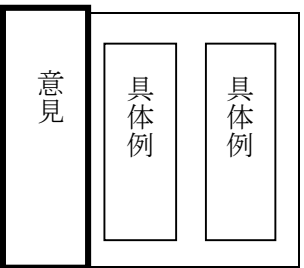
ア 意見の伝わり方

イ 全体のつながり
(論理の展開)

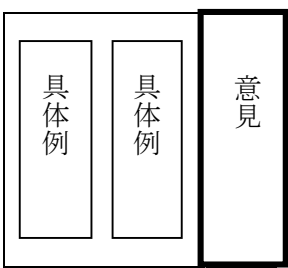
ウ 引用や表現の工夫



C 双括型



B 尾括型



A 頭括型

〔文章例 A 頭括型〕

自動運転について、これからの日本には必要なものではあるが、安全面に不安があるので、まだ改善していかなければならないと考える。

自動運転のバスは、人件費が抑えられて路線を維持しやすくなる点、高齢者の移動手段の確保につながる点では、必要性を感じる。

現在、高齢者による自動車事故が相次いでおり、免許返納が話題になっている。免許を返納すれば、移動手段がなくなる可能性も高い。だから、自動運転の乗り物が実現すれば、移動の不便さも改善される。

しかし、安全面に不安が残る。先月も無人運転の電車が逆走する事故が起きた。この事故が起きた時、「逆走は想定外」であり、原因も分かっていたいなかった。無人である、装置に異常があってもすぐに対応することができない。だから、安全面について、どのようにすればいいのか、もう一度システムを見直す必要があるだろう。

〔文章例 B 尾括型〕

現在、自動運転の実現に向けて実験が行われている。新聞に、ある都市で行われた実証実験について書かれていた。訪日外国人が、日本の複雑な交通手段を使いやすくするためのシステム開発だという。訪日外国人が多くなっている、自動運転という「次世代交通システム」は必要である。

しかし、安全面はどうだろうか。先日、無人運転の電車が逆走し、十五名が怪我をする事故が起きている。記事によると、「前兆がなく、逆走は想定外」であり、原因もまだわかっていないという。このような事故が起きると、本当に無人運転（自動運転）が実現しても大丈夫なのだろうか、と疑問に思う。

実験では、運転手を同乗させ、ルート上に警備員も配置させるという。しかし、いつかは無人になるかもしれない。もしそうなったとしても、乗った人が安心して利用できるように、安全面を中心に、時間をかけて実験をし、実現につなげてほしい。

〔文章例 C 双括型〕

私は、自動運転について、もっと慎重に議論を行うべきだと考える。

新聞によると、自動運転規定の改正道交法が成立したとある。自動運転の技術レベルによって五段階に分けられ、レベル3の運転中は、条件によつて携帯電話の使用やテレビの視聴が可能になるという。しかし、最近、無人運転をしている新交通システムが逆走し、重軽傷者が出た事故が起きたばかりである。記事によると、逆走は「想定外」であり、原因も分かっているという。

このような想定外のこととは、自動車でも起こるかもしれない。もし、携帯電話をしたりテレビを視聴したりしているときに、「想定外」が起こったらどう対応するのだろうか。もっと、「想定外」について考えるべきではないか。便利さだけを求めるのではなく、想定外に対応する方法を考えるほうが重要であると思う。

☆ミワコさんは、前の時間に収集した資料を構成することにしました。

具体例の順番は、

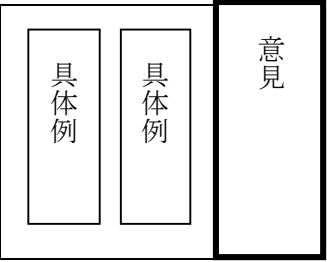
- ひいおばあちゃんの話
- 資料Ⅱ「『日本の世帯数の将来推計』の公表に関する記事」
- 資料Ⅳ「自動運転実証実験に関する記事」の順番にします。
- 自分の「サロンの充実」と「移動手段の確保」の意見は、曾祖母との話がきっかけだったから、曾祖母の話を最初に使います。そして、サロンを充実させるために参考になる例、移動手段の確保のヒントになる例、という順番にすると、全体的にもまとまると思います。



意見

高齢者が孤立しないように、サロンの充実と移動手段の確保が必要である。

A 頭括型



ミワコさんの場合

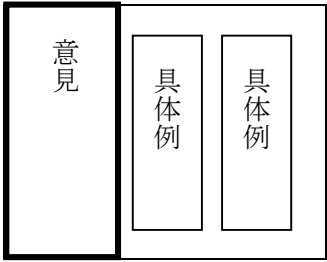
自分の意見

具体例 1 曾祖母の話

具体例 2 新聞記事Ⅱ

具体例 3 新聞記事Ⅳ

B 尾括型



ミワコさんの場合

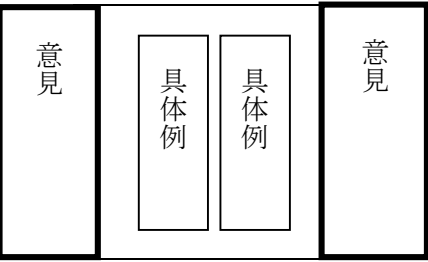
具体例 1 曾祖母の話

具体例 2 新聞記事Ⅱ

具体例 3 新聞記事Ⅳ

自分の意見

C 双括型



ミワコさんの場合

自分の意見

具体例 1 曾祖母の話

具体例 2 新聞記事Ⅱ

具体例 3 新聞記事Ⅳ

自分の意見（まとめ）

①具体例の順序

- 1 曾祖母の話
- 2 資料Ⅱ
(A市のコミュニティカフェ)
- 3 中型バスの自動運転の実証実験

②具体例の順序立ての理由

曾祖母の話から、サロンの充実、移動手段の確保の順番にすると、全体的にまとまると思うから。

1 意見「サロンの充実」「移動手段の確保」は曾祖母の話がきっかけだったから。

2 サロンの充実のヒントになるから。

3 高齢者の移動手段の確保のヒントになるから。

☆ミワオくんは、高齢者の運転に関する新聞記事を読み、意見をまとめました。

【考えてみよう3】

▽ミワオくんの意見をもとにして、

- ① 【考えてみよう1】で選んだミワオくんの資料を使って、具体例を順序立てましょう。
- ② なぜ、①のように具体例を順序立てたのかを説明しましょう。
- ③ ミワオさんの場合を参考にして、ミワオくんの意見文の構成をしましょう。

意見

高齢者が安心して運転したり移動したりするための制度を整えていくことが大切だ。

A 頭括型

意見

具体例

具体例

ミワオくんの場合

①具体例の順序



B 尾括型

具体例

具体例

ミワオくんの場合

②具体例の順序立ての理由

C 双括型

意見

具体例

具体例

ミワオくんの場合

意見

『十一人の主張―社会に目を向けて、自分が考えたことを意見文で主張しよう―』

（学習のめあて） どのように資料を引用すれば自分の意見が明確になるのかを考える。

考えよう（3） 考えの形成／意見文を書いてみよう・記述

◇（論理）と「考える視点」

「考える視点」

◎読み手に自分の意見を伝えるために

○具体例をどのように記述すれば意見を明確に伝えることができるか。

○具体例をどのように関連付けたりまとめたりして引用すれば効果的か。

○注目した部分をどのように引用すれば効果的か。

（意見と理由・事実）

（一般と具体）

（全体と部分）

☆ミワコさんとミワオくんは、具体例の引用の仕方について考え、構成表を作成しました。

【考えてみよう4】

① ミワコさんは、どのような論理を使っているのでしょうか。□⑦⑧⑨に書きましょう。

② 「ミワコさんの構成表」と比較して、ミワオくんの引用の仕方に必要なことは何かを考えましょう。

③ ミワコさんにならって、ミワオくんの構成表を完成させましょう。

〈ミワコさんの構成表〉

意見 高齢者が孤立しないように、サロンの充実と移動手段の確保が必要である。

⑦使われて
いる論理

1（具体例）

・曾祖母の話

・サロンが楽しい。

・友達ができる。

楽しむ理由

まづめる

具体例2

⑧使われて
いる論理

しかし

・もつといろいろな活動がしたい！

・サロンでの活動で、絵手紙や俳句の趣味をもった。

・今度は、体を動かす活動をしたい。

◎サロンに來たいけど來られない人がいる。 具体例3

具体例2 サロンの取組 A市のコミュニティカフェ→サロンの充実のヒント

資料Ⅱ中国新聞（平成三十一年四月二十日付）

日本の世帯数の将来推計（A市のコミュニティカフェの取組）

※コミュニティカフェの具体的な取組内容・高齢者にとつてのコミュニティカフェが
どういう存在かについて書いてある部分に―線を引いている。

具体例3 サロンに來たいけど、來られない人がいる→移動手段のヒント

資料Ⅳ中国新聞（令和元年五月十四日付）

中型バスの自動運転の実証実験

※自動運転が実現したときの効果が書いてある部分に―線を引いている。

注目！

⑨使われて
いる論理

〈ミワオくんの構成表〉

○意見 高齢者が安心して運転したり移動したりするための制度を整えることが大切だ。

おじいちゃんの話

- ①おじいちゃんの友達が免許を返納した。
- ②チャレンジデーでは、グランドゴルフをした。（優勝した）
- ③運転が心配。
- ④運転ができなくなったら外出のとき心配。
- ⑤畑のそばにプラスチックのごみが捨てられているので困る。

具体例

資料Ⅰ 統計局ホームページ（平成三十一年四月二十日公表）
☆一九五〇～二〇一八年の年齢区分別人口の割合の推移グラフ

具体例

資料Ⅵ 中国新聞（令和元年六月十一日付）
☆政府が検討している高齢者免許制度の創設についての説明
・「限定条件付き免許」の導入について述べられている箇所を大まかに囲っている。

具体例

資料Ⅳ 中国新聞（令和元年五月十四日付）
☆中型バスの自動運転の実証実験に関する記事
・自動運転の実証実験の内容に関して述べられている段落を大まかに囲っている。

〈まとめるときの視点〉

○意見の根拠として、
具体例は適切か。

○具体例の中で、関連性のあるものはないか。まとめることができるものはないか。

○注目している部分は、引用するのに適切か。

〈あなたの構成表〉

(テーマ)・自分の意見	
型(型)
〔文章構成〕	

☆意見文を書くときのポイント
意見文は、相手を納得させるような、説得力のある文章のことをいいます。

だから、自分の意見を明確にもち、その意見の根拠になる具体例を挙げることが大切です。

（考える視点）

☆意見と理由・事実

- ・自分の意見が明確か。

☆一般と具体

- ・具体例が意見に対する理由や事実になっているか。

☆全体と部分

- ・注目した部分の引用が相手を納得させることができるか。

（記述するときのポイント）

○制限字数の考え方

- ・〃以内（八割〃九割以上）
四百字以内
三百二十〃三百六十字以上
- ・〃程度（九割〃十一割）
四百字程度
三百六十〃四百四十字
- ・制限字数を超えないように！

○一文を適切な長さにする。

- ・四十〃五十字。最大でも八十字程度

○文末は常体（〃だ・〃である）にする。

○自分の意見と区別するために、新聞記事から引用するときは、「」を使う。

意見文を読み直そう・推敲

(学習のめあて) 自分の意見と具体例のつながりがあるかどうかを考えて文章を整える。

◇ (論理) と「考える視点」

「考える視点」

◎読み手に自分の意見を伝えるために

☆意見は明確か。

○意見と具体例とのつながりは適切か。(ズレはないか。)

○意見を伝えるのに適切な構成になっているかどうか。

○具体例の順序立ては適切か。

○引用した具体例は意見に対して効果的か。

○注目した部分は意見に対して効果的か。

(意見と理由・事実)

(意見と理由・事実)

(順序)

(順序)

(一般と具体)

(全体と部分)

推敲とは、

・漢字の間違いがないか

・言葉の使い方と間違いがないか

・文末は統一されているか

※「だ・である」と「です・ます」が混在していないか

・制限字数内で書いているか

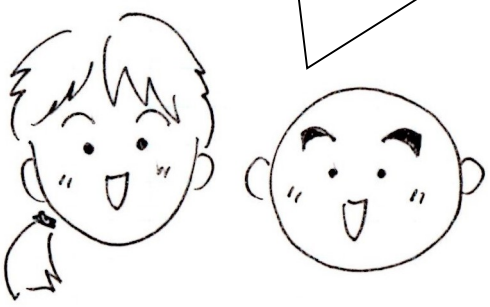
など、言葉に関する見直しをすることだと思っている人はいませんか？

けれど、それ以上に推敲で大切なのは、**内容の見直し**です。

○自分の意見と具体例はつながっているか

○文章の最初から最後まで一貫性があるか

など、論理を使って、内容の見直しをしましょう。



※参考ページ

【読もう・やってみよう】

教科書 (光村図書 国語3) 一二三ページ 『書く 練習 推敲して文章を整える』

【考えてみよう5】

- ① ミワコさんは、どのような論理を使っているでしょうか。□⑦⑧⑨に書きましょう。
- ② ミワコさんとミワオくんの推敲を比較して、ミワオくんが推敲するために必要なことは何かを考えてみましょう。
- ③ ミワコさんにならって、ミワオくんの下書きの推敲を完成させましょう。

☆ミワコさんは、下書きを次のように推敲しました。

〈ミワコさんの推敲〉

私は、一人暮らしの高齢者が孤立しないように、サロンの活動内容の充実や移動手段の確保が大切だと考える。

私の曾祖母は、地域のサロンに参加している。活動がきっかけで趣味が増え、友達ができたので楽しいと言っている。けれど、もっと他の活動ができれば来る人も増えるかもしれないと言う。そして、サロンに参加したくても、移動手段がなくて困っている人がいるらしい。私は、曾祖母の話聞いて、サロンは高齢者の孤立を防ぐために重要な役割を果たすものだった。

A市にはコミュニティカフェがある。カフェでは週末、囲碁や体操やパソコン教室などのプログラムを開催しており、地域での居場所にもなっているという。私も行ってみたいと思った。これは、サロン活動の充実のヒントになるのではないだろうか。

カフェのように、文化的なもの他に、運動できるものを活動に取り入れれば、活動の幅も増える。

また、来年、中型バスの自動運転実験が行われるという。これが実現すると、高齢者の移動手段の確保につながると言われている。自動運転が実現することで、移動が難しい人が、サロンへ来ることも可能になる。

自動運転は実現すると思う。私の地域もバスや電車の数が少ないので、実現すれば多に利用したい。このように、これからの活動内容の充実や自動運転にことにつながるから開発することが大切だ。向けての開発をして欲しい。



曾祖母の話聞き、サロンの充実が、高齢者の孤立解消につながると思いました。そして、話をまとめることで、自分の意見がより明確になると思い、一文を加えました。

⑦使われている論理

「私も行ってみたいと思った」の部分は、A市のカフェに関する感想です。だから、意見文には必要ないと思って、削除しました。

⑧使われている論理

「これはゝないだろうか」は、A市の例を受けてのまとめの一文なので、この位置ではよくないと思い、移動させます。

この二文は意見とのつながりがないので、削除しました。

⑨使われている論理

最後の一文は意見が明確ではないので、書き直します。

祖父
~~おじいちゃん~~の運転は危ない。

最近、高齢者の事故が多くなっている。これから高齢化が進む中で、高齢の運転者が増えていくだろう。だから、事故がますます多くなるのではないか。

祖父
~~僕のおじいちゃん~~は、とてもスポーツマンだ。サロンには自分で運転して行っている。僕も雨が降った日に中学校まで送り迎えをしてもらう。~~おじいちゃん~~にはいつも感謝して~~います~~^る。ありがたいと言いたいけれど、恥ずかしいのでなかなか言え~~ません~~^{ない}。けれど、運転が危険に

思う時がある。年齢的なこともあり、祖父の友達の中にも免許証を返す人が増えているそう^{祖父自身も}だ。運転免許証を返そうかどうか悩んでいる。

では、なぜ、悩むの~~でし~~^{より}か。それは、免許証を返すと、外出の時に不便だから~~です~~^だ。この地域では、バスや電車などの本数が少ないこともあり、自動車がないと生活できないという事情もある。

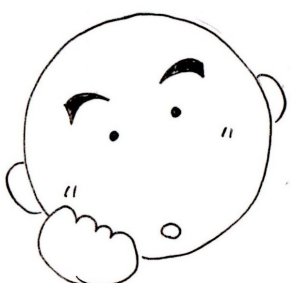
僕もB市内へ買い物に行くときに困~~ま~~^っている。

祖父
だから、~~おじいちゃん~~に連れて行ってもらうことが多いので、~~おじいちゃん~~の免許がなくなると僕も困る。

う
みんな困ると思~~い~~^ます。

だから、B市へもつと楽に行けるように、バスや電車を増やして欲しい~~です~~。

高齢化が進む↓根拠として、統計局のグラフのことを書き加える。



【ミワコさんの意見文完成例】



（双括型）

私は、一人暮らしの高齢者が孤立しないように、サロンの活動内容の充実や移動手段の確保が大切だと考える。私の曾祖母は、地域のサロンに参加している。活動がきっかけで趣味が増え、友達ができたので楽しいと言う。けれど、もつと他の活動ができれば来る人も増えるかもしれないと言う。さらに、サロンに参加したくても、移動手段がなくて困っている人がいるらしい。私は、曾祖母の話を聞いて、サロンは高齢者の孤立を防ぐために重要な役割を果たすものだと思うた。

A市では、カフェで週六日、囲碁や体操やパソコン教室などのプログラムを開催しているという。文化的なもの他に、運動できるものを活動に取り入れれば、活動の幅も増える。これは、サロン活動のヒントになるのではないだろうか。

また、来年、中型バスの自動運転実験が行われるという。これが実現すると、高齢者の移動手段の確保につながると言われている。自動運転が実現することで、移動が難しい人が、サロンへ来ることも可能になる。

このように、サロンの活動内容が充実し、さらに、移動手段が確保できれば、交流の場ができ、高齢者が孤立することがなくなるだろう。だから、これからも活動内容の充実や自動運転の確保に向けての開発が大切だ。

（頭括型）

私は、一人暮らしの高齢者が孤立しないように、サロンの活動内容の充実や移動手段の確保が大切だと考える。サロンの活動内容が充実し、移動手段が確保されれば、交流の場ができるからだ。

私の曾祖母は、地域のサロンに参加している。活動がきっかけで趣味が増え、友達ができただので楽しいと言う。けれど、もつと他の活動ができれば来る人も増えるかもしれないと言う。さらに、サロンに参加したくても、移動手段がなくて困っている人がいるらしい。私は、曾祖母の話を聞いて、サロンは高齢者の孤立を防ぐために重要な役割を果たすものだと思うた。

A市では、カフェで週六日、囲碁や体操やパソコン教室などのプログラムを開催しているという。文化的なもの他に、運動できるものを活動に取り入れれば、活動の幅も増える。これは、サロン活動のヒントになるのではないだろうか。

また、来年、中型バスの自動運転実験が行われるという。これが実現すると、高齢者の移動手段の確保につながると言われている。自動運転が実現することで、移動が難しい人が、サロンへ来ることも可能になる。

このようなサロンの活動内容の充実や自動運転に向けての確保は重要になるだろう。

【ミワオくんの意見文完成例】



（尾括型）

最近、高齢者の事故が多くなっている。統計局が公表した年齢区分別人口の割合の推移のグラフからも分かるように、これからも高齢化は進んで行く。高齢の運転者が増えていく中で、事故はますます多くなるかもしれない。

自分には祖父がいる。祖父は地域のサロンに行くときに自分で運転する。僕も雨が降った日は、中学校まで送迎をしてもらっている。ときどき、祖父の運転を危険に思う時がある。年齢的なこともあり、祖父の友達の中にも免許証を返す人が増えていくそう。祖父自身も運転免許証を返そうかどうか悩んでいる。

では、なぜ、悩むのか。それは、免許証を返すと、外出の時に不便だからだ。この地域では、バスや電車などの本数が少ないこともあり、自動車がないと生活できないという事情もある。

現在、国では、高齢者が安心して移動ができるように、さまざまな対策をしている。例えば、政府は、安全機能付きの車限定で運転できるようにしようと、高齢者の免許制度の検討をしている。

また、国土交通省と経済産業省が、来年度から自動運転の実証実験を行う予定だ。これが実現すれば、高齢者の移動手段の確保につながるという。

このように、安全運転ができるような制度を作り、免許証がなくても、安心して移動できるような整備を早く整える必要がある。